

ドクターヘリを間近で見学

◎愛媛県ドクターヘリ運用訓練

12月16日、愛治小学校で愛媛県ドクターヘリ運用訓練が行われ、愛治小学校の児童や地域住民らがドクターヘリの訓練を見学しました。

昨年度に完成した愛治小学校のヘリポートにドクターヘリが着陸するのは初めて。消防署の職員が待機する中、この日のヘリコプターは松山空港を出発し、約15分で到着しました。

パイロットの江松俊輔さんは、県内であれば30分ほどで県内全域に出動できることや年間300～400人ほどの患者を搬送することなど、ドクターヘリの業務について説明しました。その後、児童らはドクターヘリの中を楽しそうに見学しました。

また、同様の訓練が12月24日、三島小学校のヘリポートでも実施されました。ドクターヘリから降りてきた医師の芝陽介さんと看護師の毛利貴恵さんはともに鬼北町出身。見学した児童らは、ドクターヘリの仕事をより身近に感じていました。



愛治小学校



三島小学校

地域を元気づける優しい光

◎日吉公民館 イルミネーション点灯式



12月10日、みどり保育所でイルミネーションの点灯式が行われました。

コロナ禍で町内のさまざまなイベントが中止となる中、地域を元気づけようと初めて日吉公民館が企画。イルミネーションは、日吉小中学校の児童生徒がデザインを考え、地域住民も協力して設置されました。点灯式では、みどり保育所の園児が歌やハンドベルを披露。カウントダウンを行い、日吉中学校の尾崎優里さんと、坂本洸華さんがイルミネーションの除幕とスイッチを押して光を灯しました。

最後の近永駅舎に感謝を込めて

◎JR近永駅門松づくり



12月13日、JR四国のOBらでつくる「四国鉄道OB会」の南予分会の会員と役場職員が作った門松が近永駅に設置されました。

近永駅は、立て替えのため、令和4年に取り壊される予定。最後のお正月を迎えることから感謝の気持ちを込めて門松が作られました。

また、20日には、北宇和高校の生徒が近永駅と駅周辺にイルミネーションを設置しました。イルミネーションと門松が、予土線の利用者を温かく迎えるとともに、地域を華やかに彩っていました。